

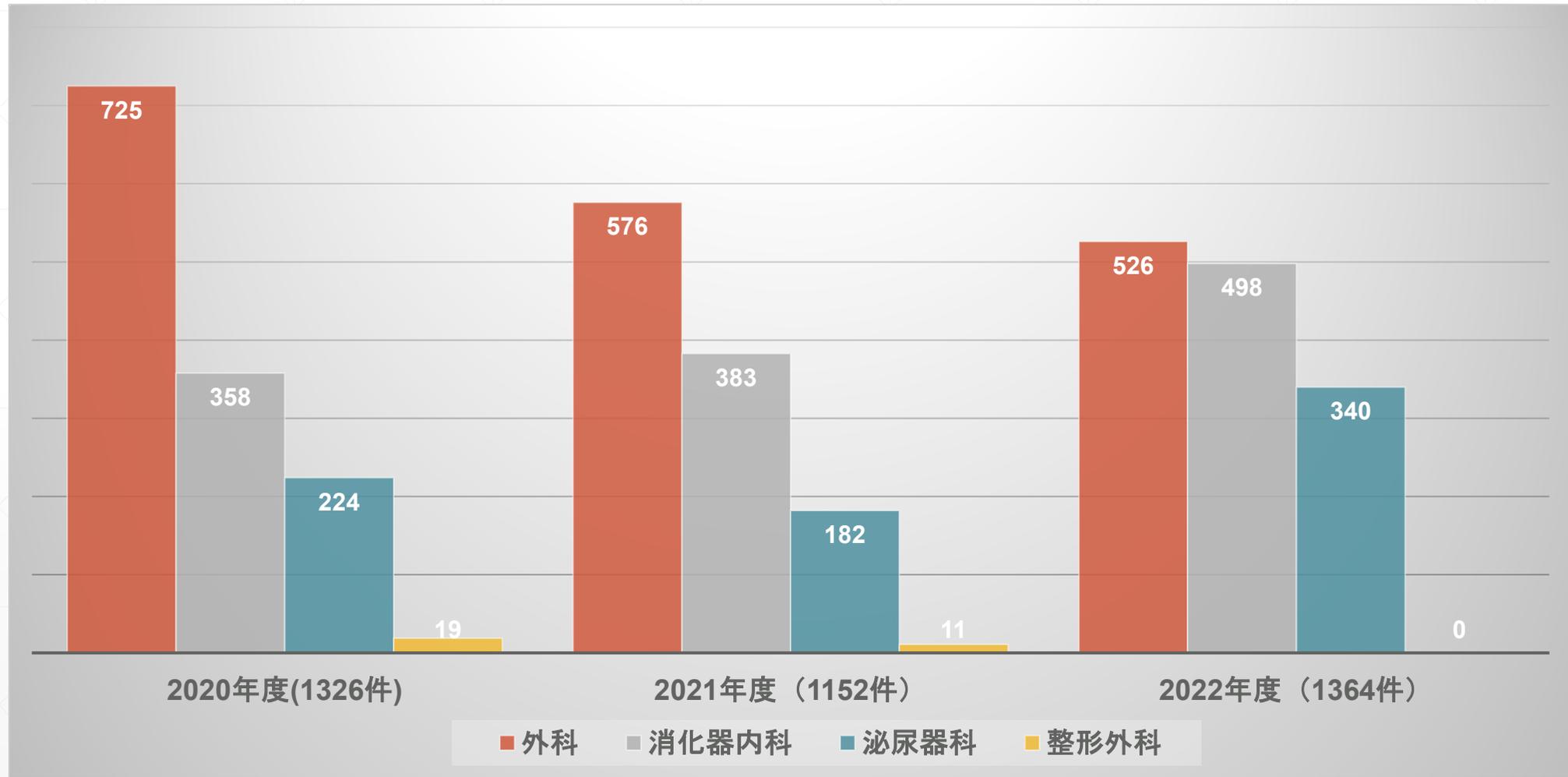
外来化学療法室の 副作用報告 2021.1～2023.3

2023年11月1日
がん診療委員会 研修会
がん化学療法看護認定看護師
小清水 浩子

本日の内容

1. 外来化学療法室の治療件数
 2. がん患者指導管理料の算定件数
 3. 外来化学療法室での副作用件数
-

外来化学療法室の治療件数

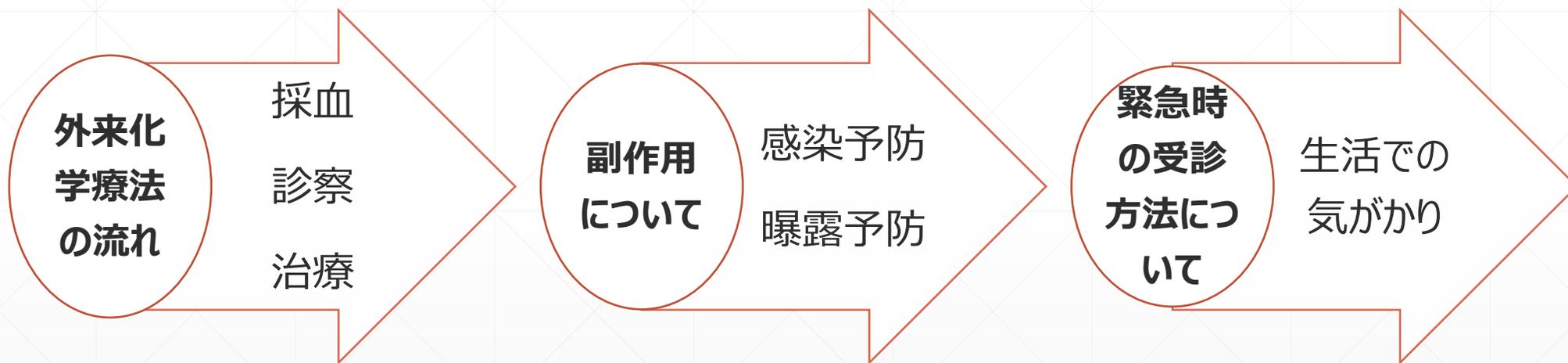


がん患者指導管理料の算定件数 (令和2年度～令和4年度)

- **イ**：医師の説明に認定看護師が同席する
- **ロ**：医師、臨床心理士、認定看護師単独で説明 STAS-Jで判定
- **ハ**：医師、がん薬物療法薬剤師が単独で説明
- ・がん患者指導同意書を取得する

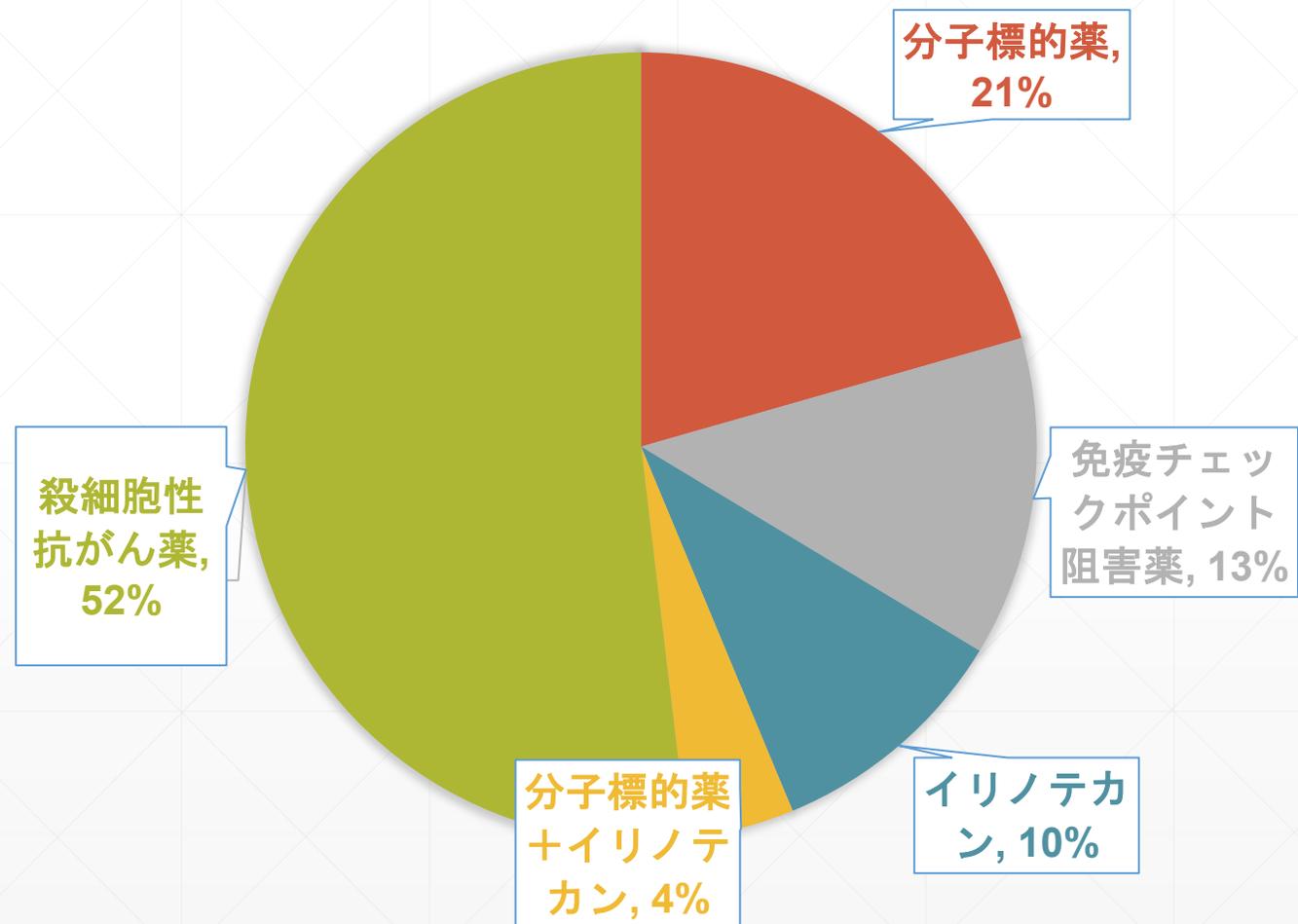
| 種類/年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------------|-------|---------|---------|
| イ (500点) | 3 2 | 2 9 | 1 9 |
| ロ (200点) | 6 5 8 | 1 4 2 1 | 1 1 2 6 |
| ハ (200点) | 1 5 9 | 6 4 | 3 4 |

外来化学療法オリエンテーション

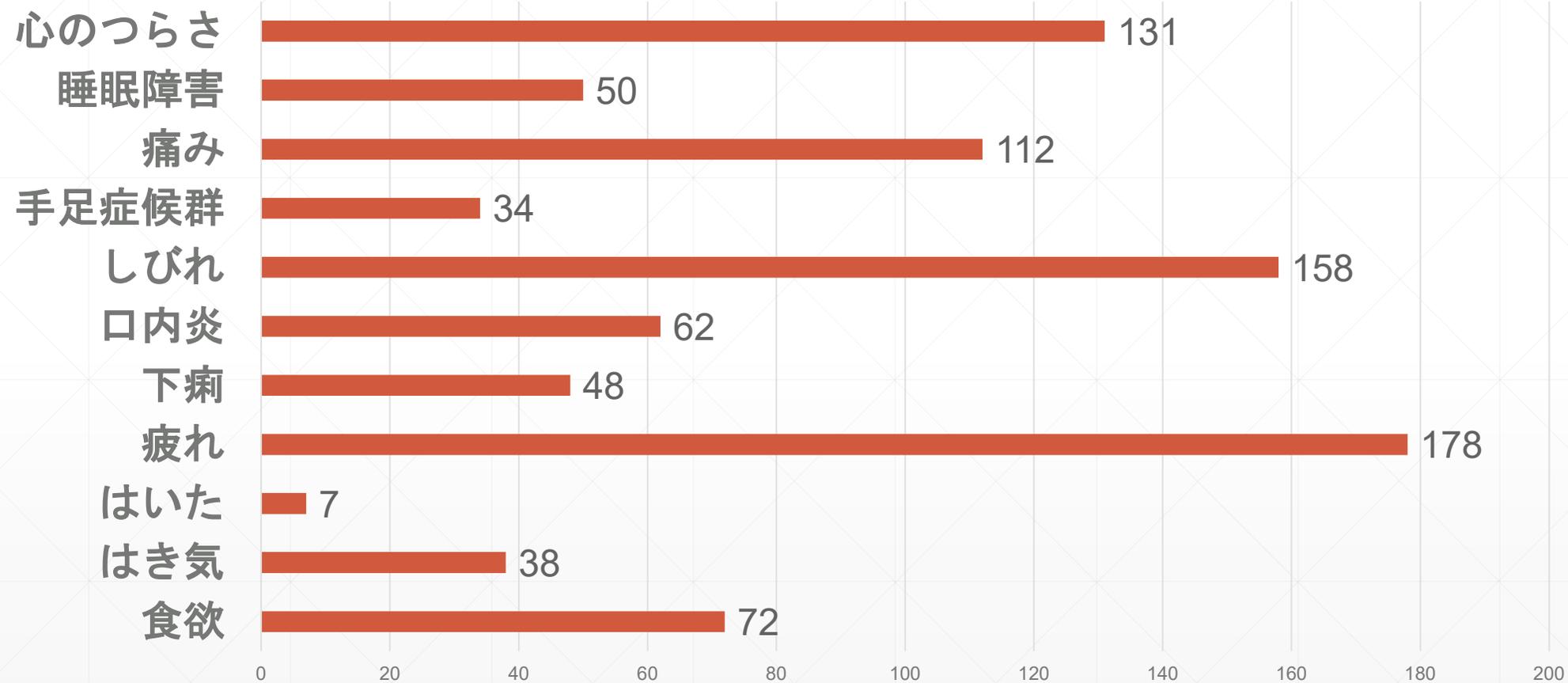


外来化学療法室での薬剤別投与件数 (2021年1月～2023年3月)

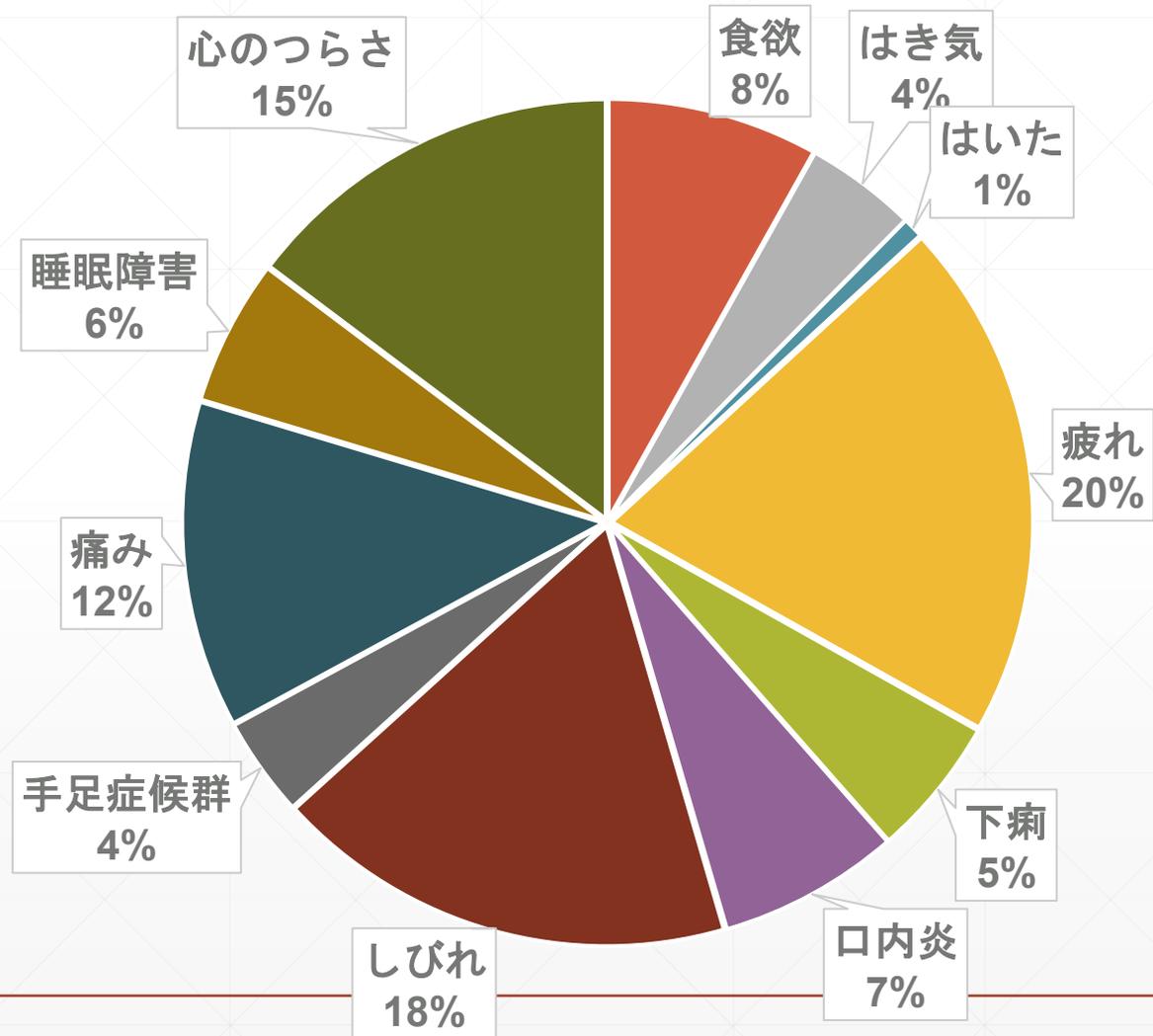
- 総投与件数 2,213件
- 分子標的薬 455件
- 免疫チェックポイント阻害薬 290件
- イリノテカン 223件
- 分子標的薬 + イリノテカン 97件
- その他：殺細胞性抗がん薬 1,148件



分子標的薬の副作用発現件数

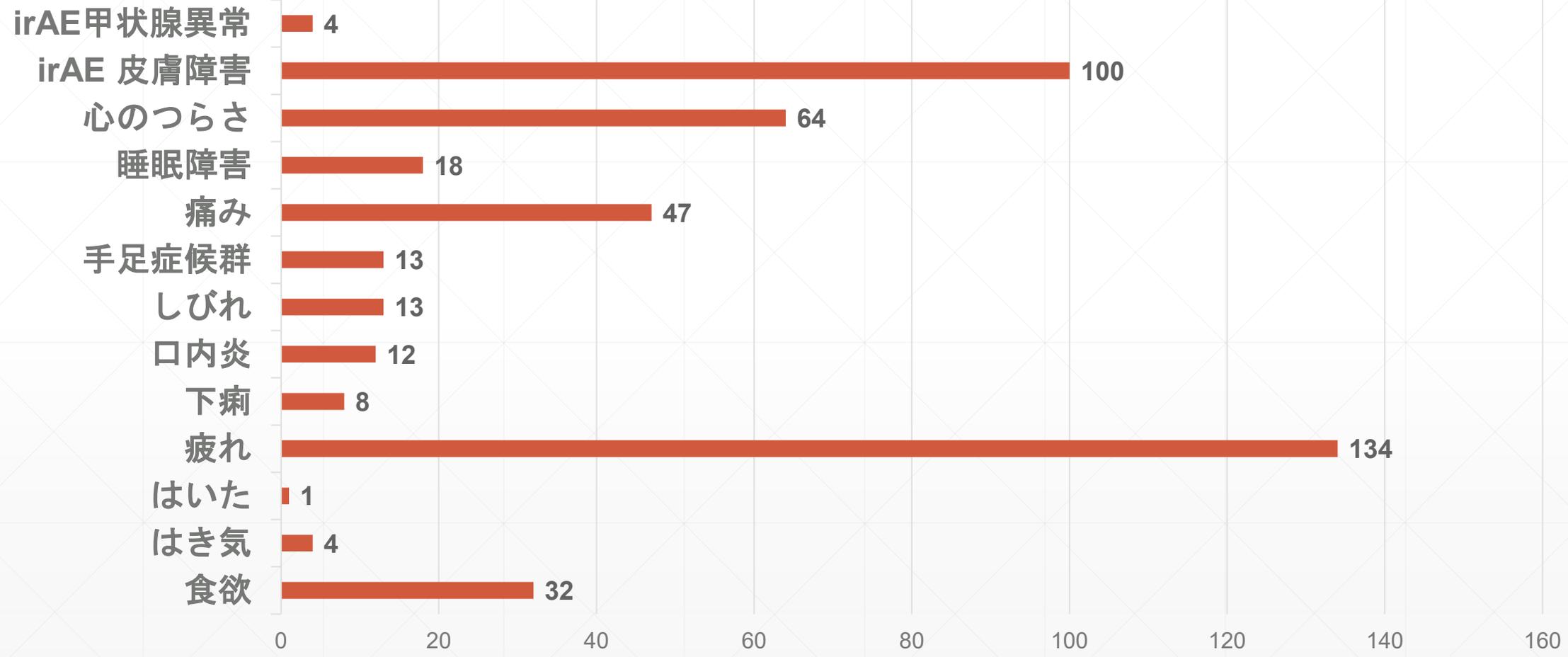


分子標的薬の副作用発現率

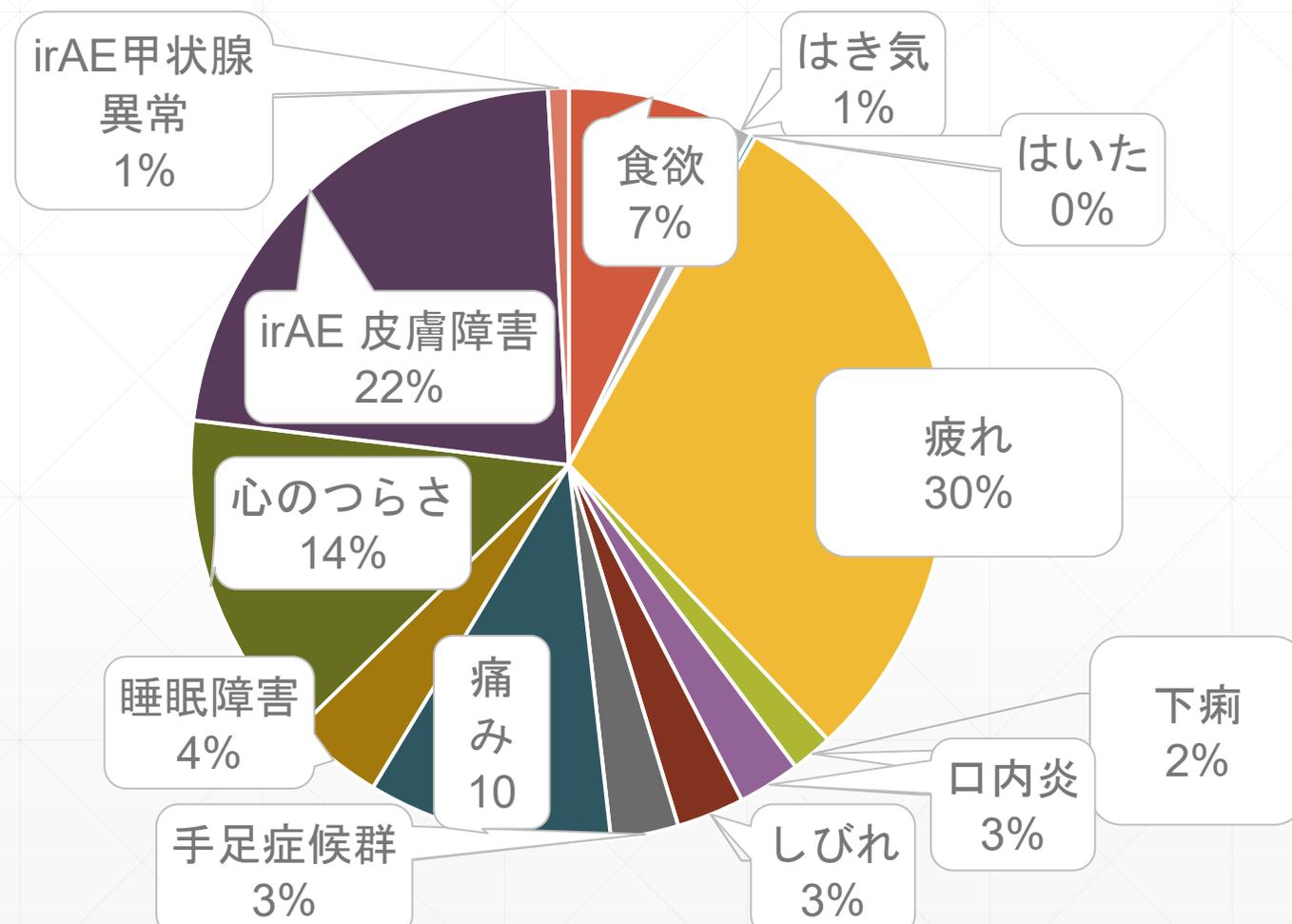


N : 455

免疫チェックポイント阻害薬副作用発現件数

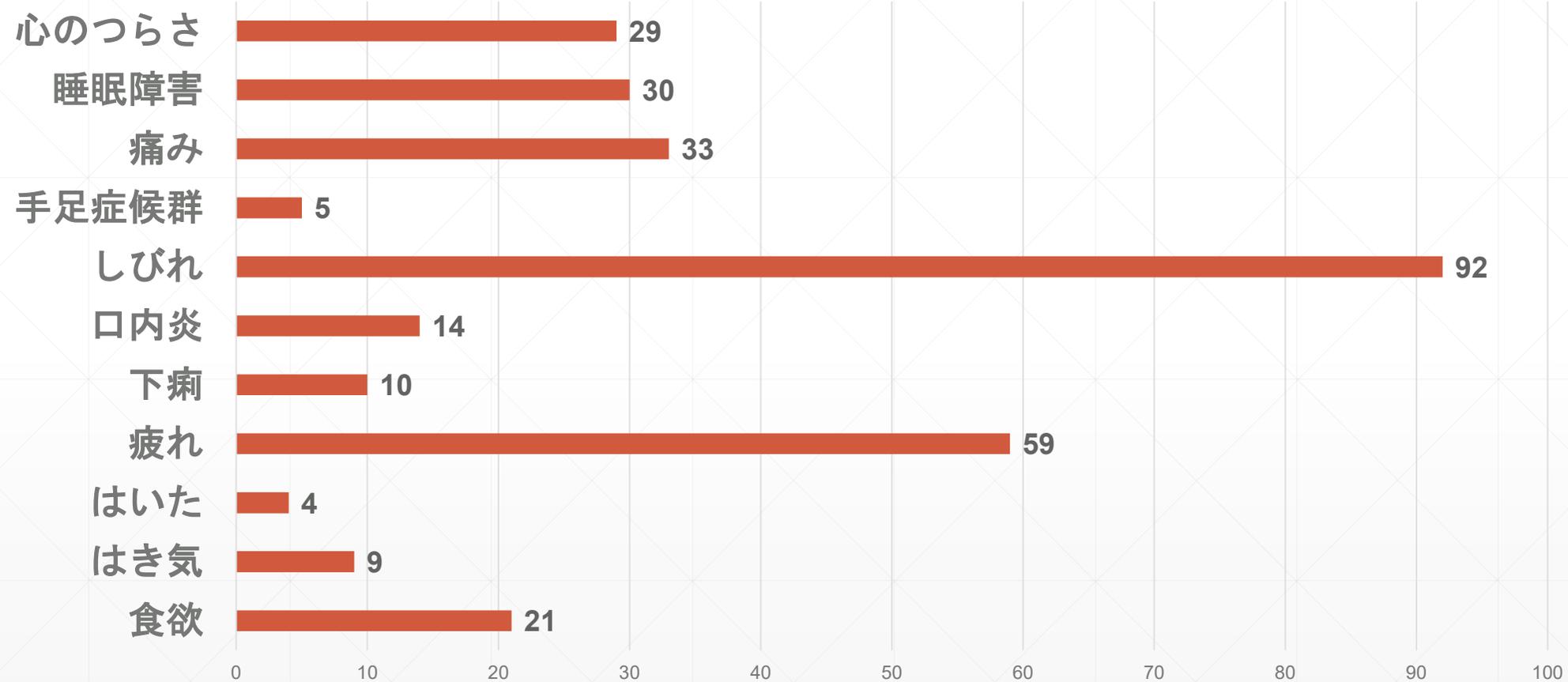


免疫チェックポイント阻害薬副作用発現率



N:290

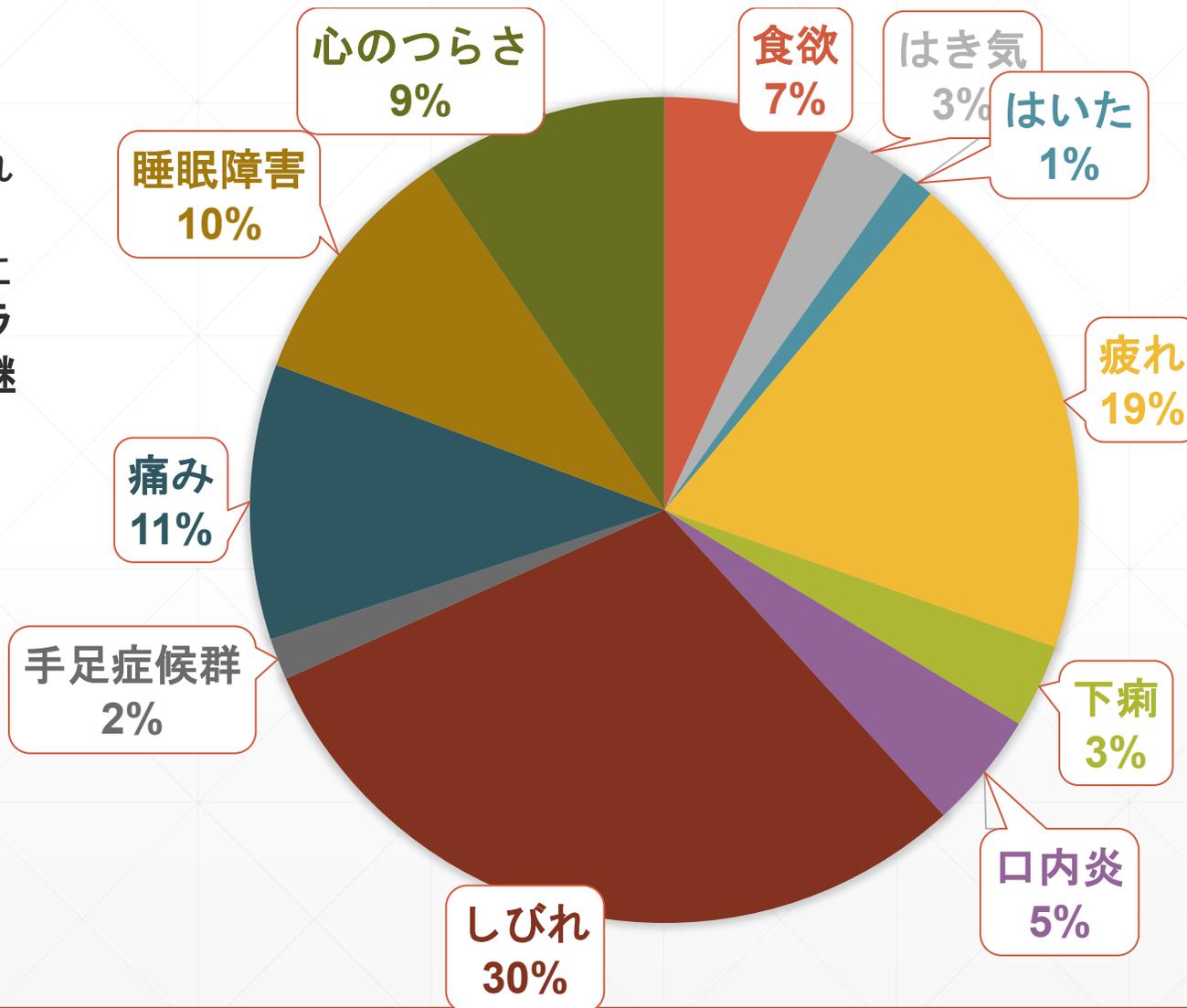
イリノテカンの副作用発現件数



イリノテカンの副作用発現率

*イリノテカンでしびれが高くなっているのは、イリノテカンを使う前にFOLFOXでオキサリプラチンの末梢神経障害が継続しているから。

*下痢が低いのは、イリノテカン投与前にUGT1A1の遺伝子多型の採血が保険適用になり調べられるようになったから。



N:233

がん薬物療法による末梢神経障害 (CIPN) の対策

- 神経障害性疼痛薬物療法ガイドラインにおける末梢神経障害性疼痛に対する薬物療法
 - 大規模試験で有効性を示すことができたのは、**デュロキセチン**のみ
 - CIPNに対してはデュロキセチン以外の薬剤は推奨されていない
 - デュロキセチン（先発医薬品名：**サインバルタ**）は脳内でセロトニンとノルアドレナリンの働きを強めることにより、気分の落ち込み、意欲低下、体の痛みなどを改善する効果がある
 - デュロキセチンによっても十分にコントロールすることができない場合は、適切な原因薬剤の減量・休薬が最も重要
-
- CTCAEのGrade 3で休薬Grade 1～2へ改善したら再開を検討

外来化学療法室での副作用対策の取り組み

- DOC（ドセタキセル）による爪囲炎予防のためのフローズングローブ



ご清聴ありがとうございました



マリン5歳